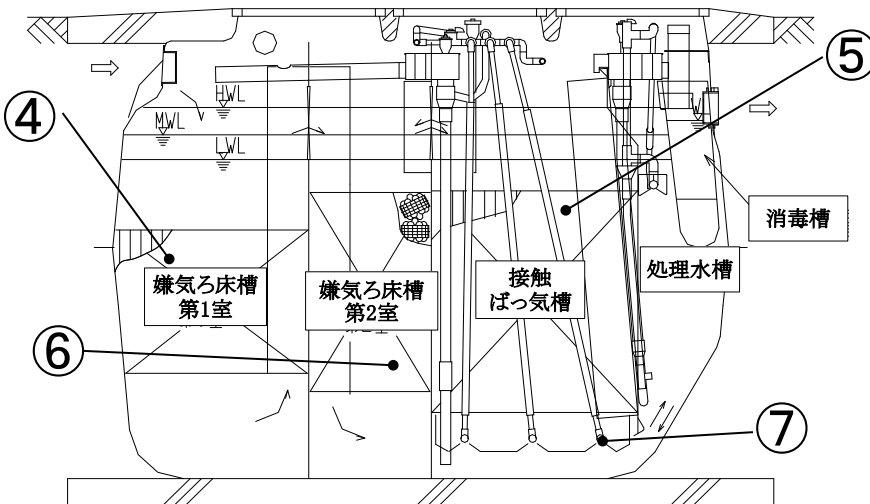
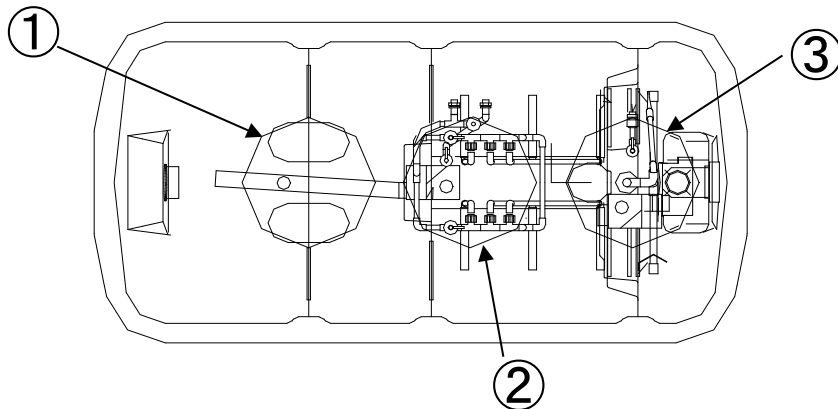
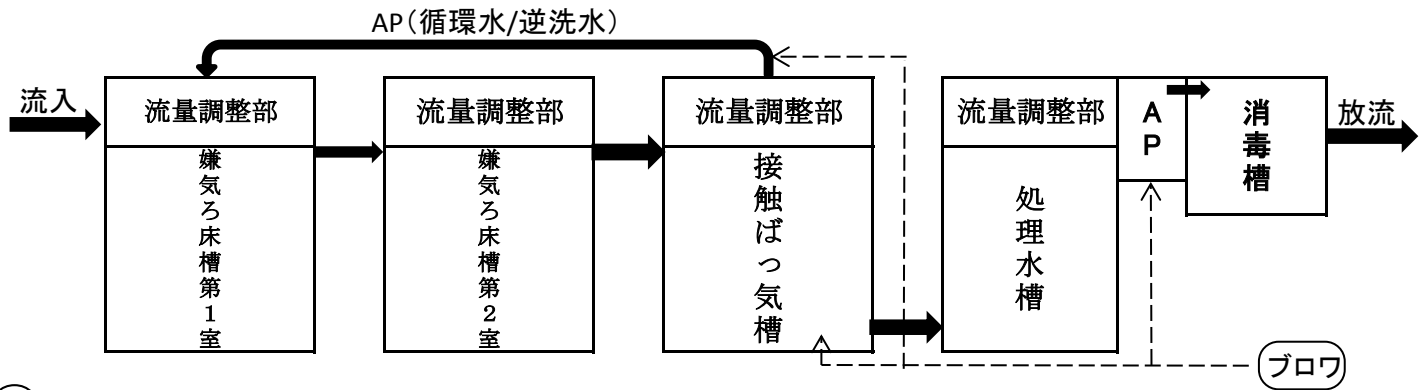


RS-P (株)クボタ
 OEM: なし
 共同開発: なし
 処理方式: 流量調整型嫌気好気循環ろ床全面ばっ気方式
 5・7・10人槽

窒素除去型

全浄協登録値		
BOD	SS	T-N
20mg/L以下	—	20mg/L以下
性能評定または性能評価値		
BOD	SS	T-N
10mg/L以下	—	20mg/L以下



- ①嫌気ろ床槽第1室
- ②嫌気ろ床槽第2室
- ③接触ばっ気槽
- ④嫌気ろ床第1室ろ材
- ⑤接触材
- ⑥嫌気ろ床槽第2室ろ材
- ⑦散気管

有効容量 (m ³)		5人槽	7人槽	10人槽	
槽名	嫌気ろ床槽 第1室(L. W. L)	0.778	1.102	1.839	
	嫌気ろ床槽 第2室(L. W. L)	0.522	0.923	1.222	
	接触ばっ気槽(L. W. L)	0.868	1.236	1.768	
	処理水槽(L. W. L)	0.259	0.404	0.597	
	〈流量調整部〉		0.407	0.578	0.873
	消毒槽			0.025	
合計		2.859	4.268	6.323	

槽底部からろ材受け面までの距離(mm)	第1室	400
	第2室	330

流量調整機能	循環バルブ	循環調整ゲート			散気管バルブ	空気逃がしバルブ	処理水移送バルブ開度	処理水移送ゲート		
有	60%	5人	7人	10人	全開	全閉	60%	5人	7人	10人
		5	7	10				5	7	10

人槽	ブロウ風量 (ℓ/分)	逆洗風量 (ℓ/分)	エアリフト用 (ℓ/分)	逆洗時間 (分)	逆洗時刻	逆洗回数 (回)	逆洗周期
6	100		15×2口	10	3:00	1	4週間
7	120						
10	120	60					

[実使用人員に対する循環水量と処理水量の設定範囲]

実使用人員(人)	5	7	10
循環移送水量(ℓ/分)	2.1~2.8	2.9~3.9	3.8~5.6
処理水移送水量(ℓ/分)	0.7~1.4	1.0~1.9	1.3~2.8

循環・処理水の移送水量は移送管出口で実測しながらバルブで微調整してください。

特 徴

流量調整機能 嫌気ろ床槽、接触ばつ気槽、処理水槽の上部が流量調整部となっており、水位が変動する。流量調整は処理水槽上部に設置された計量装置で処理水量を調整する。

嫌気ろ床槽 第1室には網様板状ろ材(目幅70mm)、第2室には骨格様球状ろ材(φ110mm)が充填されている。

接触ばつ気槽 ろ材に網様板状接触材(目幅50mm)が用いられている。接触材の閉塞を防止するため、タイマー制御にて散気風量を一時的に1.5倍に高めることにより、自動逆洗が行われる。

処理水槽 槽内水に含まれたSSが沈殿分離された後、水面下に設置された集水パイプからエアリフトポンプにより定量移送装置へと揚水され、消毒槽へ流出する。

ブロウ 5・7人槽はばつ気逆洗兼用とエアリフト用(吐出口2ヶ所)の2台のブロウを設置する。10人槽はばつき用と逆洗用が独立するためブロウが3台になる。

作 業 時 の ポ イ ン ト

保守点検

①上表を参考に循環移送水量を実測しながら調整してください。

②上表を参考に処理水移送水量を調整してください。

③通常の運転状態では、タイマー制御により4週間に1回逆洗を行うことで生物膜厚の適正化を図っています。生物膜の肥大化、接触ばつ気槽底部に多量の汚泥がある等の状態が認められた時には、手動にて逆洗してください。

※この自動逆洗は接触ばつ気槽の生物膜を適正に維持するためのもので、接触材から生物膜をはがす従来の「逆洗」のイメージとは異なりますので注意してください。

清掃

①嫌気ろ床槽第1室は、全量引き抜いてください。

②接触ばつ気槽は生物膜量を見て適宜手動で逆洗した後、剥離汚泥を沈降させ汚泥引き抜き口より適正量引き抜いてください。